

特集

九州沖縄管内のスマート農業実証プロジェクトの取り組み

農研機構では、農業が抱える高齢化と人手不足の課題を解決するため、令和元年度からロボット、AI、IoTなどの先端技術を実証する「スマート農業実証プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトは、2年間で先端技術を実際の生産現場に導入してその有効性について実証を行うとともに、技術の導入による経営への効果を明らかにするものです。スマート農業の実証は、全国69地区において、平地や中山間地域の水田作、畑作、露地野菜、施設園芸、果樹、茶、畜産などの作目で取り組みが始まっています。

九州沖縄管内は全国の23%にあたる16経営体が参画しています(図)。その内訳を見ると、施設園芸が5件、露地野菜が3件、畑作が3件、水田作(大規模)、水田作(中山間)、果樹(温州みかん)、茶業(お茶)、酪農(乳肉複合)が各1件ずつで、施設園芸と露地野菜が多いこと、さとうきびが2件あることが特徴的です(表)。

各経営体で実証中の先端技術は、農林水産省農林水産技術会議のホームページ(※1)上で公開されており、スマート農業実証プロジェクトの実証69地区の取り組み内容等を紹介するパンフレットのpdf形式が入手できます。また、農研機構のスマート農業実証プロジェクトのホームページ(※2)では、全国各地で開催される現地見学会、現地実演会、マッチングフォーラムの開催が新着情報として順次更新されています。適宜ご覧いただき、興味のある方は経営体の現地見学会等へ積極的に参加いただければと思います。

※1 : http://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/smart_agri_pro.htm

※2 : <https://www.naro.affrc.go.jp/smart-nogyo/>

【農業技術コミュニケーター 増田欣也】



図 九州沖縄管内の実証地の分布

「スマート農業実証プロジェクトパンフレット
(農林水産省)から引用」

表 実証経営体一覧表

県	実証経営体	品目
福岡		
■54	(株) RUSH FARM ほか	施設園芸 (葉菜類)
佐賀		
■55	(有)アグリベースにいやま	水田作 (大規模)
長崎		
■56	JA ながさき西海農協させほ 広域かんきつ部会	果樹 (温州みかん)
熊本		
■57	(株)東洋グリーンファーム	畑作 (大麦青葉)
■58	JA 阿蘇いちご部会委託部	施設園芸 (イチゴ)
■59	JA 熊本市園芸部会茄子部会ほか	施設園芸 (なす・すいか)
大分		
■60	(株)オーエス豊後大野ファーム	露地野菜 (白ネギ)
■61	(株)タカヒコアグロビジネス	施設園芸 (パプリカ)
宮崎		
■62	(株)ジェイエイフーズみやざき	露地野菜 (加工用)
■63	(有)新福青果	露地野菜 (根菜類)
鹿児島		
■64	土里夢たかた	水田作 (中山間)
■65	(有)南西サービス	畑作 (さとうきび)
■66	JA そおピーマン部会	施設園芸 (ピーマン)
■67	鹿児島堀口製茶(有)	茶業 (お茶)
■68	霧島第一牧場	酪農 (乳肉複合)
沖縄		
■69	アグリサポート南大東(株)	畑作 (さとうきび)